

① 法人概要書

法人名	社会福祉法人 鴨川市社会福祉協議会				
主たる事務所の所在地	〒296-0033 鴨川市八色887番地1				
電話番号	04 - 7093 - 0606				
メールアドレス	kamogawa-shakyo@bz03.plala.or.jp				
代表者 (ふりがな)	かいちょう いしい かずみ 会 長 石 井 一 巳				
設立年月 (活動開始年月)	平成 17 年 2 月 (17 年 2 月)	事業 年度	4月 ~ 3月	人数	人
市内の事務所の所在地	〒				
開設年月 (活動開始年月)	年 月 (年 月)	事業 年度	月 ~ 月	人数	人
活動分野	※下表「活動分野」から該当するものをご記入ください。				
	【主たる分野】 2		【従たる分野】 1、7、11、15、20		
ホームページ	有 (URL http://www.kamoshakyo.or.jp/) / 無				
機 関 紙	○有 (名称 : かもがわ社協だより) / 無				
法人の活動目的	この社会福祉法人は、鴨川市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。				
主な活動内容 (事業内容)	(1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施 (2) 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 (3) 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡調整及び助成 (4) 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡 (5) 共同募金事業への協力 (6) 福祉基金運営に関する事業 (7) 鴨川市福祉資金貸付に関する事業 (8) ホームヘルプサービス事業 (9) 鴨川市福祉作業所(就労継続支援B型事業所)管理・経営 (10) デイサービス事業 (11) 鴨川市高齢者配食サービス事業の受託 (12) 福祉サービス利用援助事業 (13) 生活福祉資金貸付事業 (14) 高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造資金貸付事業 (15) 福祉総合相談事業 (16) 福祉移送サービス事業 (17) 生活支援体制整備事業 (18) 放課後児童健全育成事業 (19) 成年後見制度に関する事業 (20) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的達成のために必要な事業				
これまでの活動実績	(主なもの) 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい事業の実施、福祉教育、ボランティアの派遣、鴨川市高齢者配食サービス事業の受託実施、高齢者・障害者へのホームヘルパーの派遣、高齢者・障害者へのデイサービス実施、学童クラブの運営、鴨川市災害ボランティアセンターの運営 (企業、団体、行政との協働実績) 鴨川市との協働による安房地域権利擁護推進センターの立ち上げと運営 鴨川市災害ボランティアセンターの立ち上げ、運営				

○活動分野

1 保健・医療	8 文化・芸術	15 子どもの健全育成
2 福祉	9 スポーツ・レクリエーション	16 情報化社会
3 生涯学習	10 環境	17 科学技術
4 観光	11 災害救済・地域安全	18 経済活動・消費者保護
5 農山間地域振興	12 国際交流・国際協力	19 職業能力開発・雇用機会拡充
6 学校教育	13 人権・平和	20 市民活動支援
7 まちづくり	14 男女共同参画	21 その他

■ 寄附者へのPR ■

1 市民（寄附者）に向けた団体のPR	鴨川市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とする社会福祉法人です。その活動は、地域に住む皆さんが安心して生活できるように、一人暮らしの高齢者への安否確認事業や、判断能力が十分でない方々のために福祉サービスの情報提供や利用手続きの援助や代行、金銭管理、財産保全サービスに関する相談窓口の設置、共働き家庭やひとり親家庭など働きながら子育てしている家庭で、児童の授業終了後に、適切な遊びの場生活の場を提供し、健全な育成をする学童クラブを運営しています。また、昨年は、相次ぐ台風、記録的な豪雨などにより、鴨川市はこれまでに経験したことのない災害が発生した。この災害の被害に対し、鴨川市災害ボランティアセンターを開設し、市内外から多くのボランティアの皆様にご協力いただきながら被災された方々の支援（ブルーシート展張作業等）に取り組んできました。今後も地域のボランティア団体（地区社協等）と連携して日頃の地域のつながり強化を意識した地域福祉活動を推進してまいります。
2 支援を受けて取り組みたい事業の概要	① 子どもたちへ相手を思いやる心を育てる福祉教育の推進 児童・生徒の人を思いやるこころと豊かな人間性を養うため、学校・家庭・地域社会と連携しながら福祉出前学習会、福祉教育連絡会活動、ボランティアワークキャンプ等を実施していきます。 ② 毎年行う“かもがわ福祉でまちづくりフェスティバル” 次世代を担う「子どもの育成」に焦点をあて、地域住民の交流やふれあい、つながりを大事にしながら市内諸団体と連携を図りながら、多世代で楽しめるイベントになるように取り組んでいきます。 ③ 災害時にボランティアの拠点となる災害ボランティアセンターの設置、運営 大きな災害時に迅速にボランティアによる被災者支援が行えるように災害ボランティアセンターを設置するためのボランティアの育成、マニュアルの作成、ボランティアセンター設置訓練の実施、昨年実際に運営した鴨川市災害ボランティアセンターでの課題解決に取り組みながら、地域において“お互いさま”の心を高められる取り組みを進めています。

■ 目標宣言 ■

私たちは、基金の支援を受けて、右の目標達成に努力します。	① 福祉教育は、地域のボランティア団体の協力をいただきながら、「子どもを地域全体で育てる」という考えを基本目標として、高齢者や障害をお持ちの方々との交流や地域を見直す機会として市内全小中学校にて実施できるようにしていく。 ② かもがわ福祉でまちづくりフェスティバルの開催にあたり、地区社協、ボランティア団体、福祉関係機関と協働して、子どもから高齢者、障害をお持ちの方まで多くの市民が楽しめるイベントとして開催する。 ③ 昨年開設した災害ボランティアセンターの設置を教訓とし、課題となった協定書の見直し、災害ボランティアセンター設置マニュアルの修正等を行うと同時に、それぞれの地域における活動や住民の皆さんと協働して、日ごろから個々にできる備えとともに、地域において“お互いさま”の心を高められる取り組みを進めていきます。
-------------------------------------	---

この申請書に記載している事項に間違いはありません。

令和 2 年 2 月 28 日

法人名 社会福祉法人 鴨川市社会福祉協議会

代表者 職・氏名 会長 石 井 一